

令和4年度 組織重点目標一覧

係名	具体的目標	達成水準	達成状況
商工係	町内企業の安定経営と経営基盤の強化、創業に対する各種支援策等の利活用を促進するとともに、町内企業の魅力を積極的に発信することにより雇用機会を確保し、地域経済の活性化を推進する。	<p>1 広報紙やホームページのほか、商工会や産業振興協議会等と連携し、積極的に町内企業への制度周知を行う。</p> <p>2 事業継続に向けた生産性向上や販路開拓、新商品・新サービスの開発など、町内企業の新たなチャレンジを支援する事業を展開する。</p> <p>3 仙台地方振興事務所やハローワーク等と連携した企業説明会の開催と産業祭での企業PRブースを設置する。</p>	町内企業の安定経営を支援するため、融資制度やコロナ関連を始めとした各種支援制度について、ホームページやダイレクトメール等により積極的に発信し、各種制度の利活用の促進に努めたほか、町振興資金制度においては融資利率を引き下げ、利便性の向上を図った。 企業の新たな取り組みを支援する「チャレンジ応援助成事業」では、多くの新商品が開発され、それらをふるさと納税返礼品に承認され、返礼品の拡充に繋がった。
観光係	これまでにない斬新なイベントの通年開催により、利府町を「知ってもらい」、そして「来てもらう」観光施策の実現に努め、ウィズコロナ・アフターコロナや地域活性化に資する。	<p>1 主要イベント通年入込数 10,000人！</p> <p>①5/14TGR 5,000人 ②6/18レガシー 500人 ③9/18産業祭 4,000人 ④10月末利府ラリー 500人</p>	イベントを通年開催し、利府町を「知ってもらい」、そして「来てもらう」観光施策の実現に努めた。主要イベントでは、目標としていた10,000人を大きく上回る25,000人の来場となった。特に9月18日に開催した、第30回「十符の里-利府」フェスティバル～ALL RIFU 産業祭～では、地元企業、事業者やまちづくり団体をはじめ、宮城学院女子大学とのコラボ事業や、十和田乗馬倶楽部の流鏑馬コーナーなど町内外からたくさんの御協力をいただき、利府町を広くPRするとともにアフターコロナを見据えた町の活性化に努めた。さらに観光資源である「馬の背」のPRに力を入れるとともに、周辺環境整備を行った。
シティセールス係	課の目標である「すべて本気！」を踏まえ、前年度以上の戦略的なシティセールスを推進し、ふるさと納税の大幅な拡大を図るとともに、移住・定住及び関係人口の拡大に向けた新たな取組を展開する。	<p>1 寄附金額をR3実績1.5倍の450,000千円以上とする。(当初予算は350,000千円)</p> <p>2 本町の特性に即した新たな移住・定住施策を導き出す。(実施は翌年度以降)</p> <p>3 町民主体の新たな企画、新商品(ブランディング含む)の創出及びプログラミングスクールの開催(年10回程度)</p>	<p>分析結果に基づくターゲット設定やWEB広告の活用、首都圏でのPRイベント等に取り組んだことから、目標としていた「前年度以上の戦略的なシティセールスの推進」としては概ね達成できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標1：高額返礼品が大幅減少したため、寄附金額が未達成となったが、前年度比100,000千円増に拡大できた。 ・目標2：新たな取組となる「お試し移住」の実施に向け、浜田地区の空き家所有者との調整を行い、今後の取組の方向性を示せた。 ・目標3：新たな商品開発、住民・事業者による新規事業プランにつながったほか、プログラミングスクールも計画どおり実施した。